|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業名 | 鋼材種別推定調査 | | 作成日 | 2022年 9月29日 |
| 作業工法等 | サムスチールチェッカーによる鋼材種別推定 | | | |
| 使用機器・道具 | サムスチールチェッカー、ベルトサンダー、養生・復旧道具 | | | |
| 作業に必要な資格 | 無し | | | |
| 職長名 |  | | | |
| 作業工程 | 作業の順序 | 手順・安全のポイント | | |
| 準備・移動 | １)火気使用届の提出  ２）使用機器の動作確認    ３）作業前ミーティング  　・健康状態の確認  　・保護具・服装の確認  　・資格者の確認  　・作業手順の確認  　・現地KYの実施    ４）現地への移動      ５）作業場所の周辺環境の確認 | ・ベルトサンダーの使用が火気使用に該当する場合、火気使用届を提出する。  ・前日に正常に作動するか確認する  ・体調不良の有無の確認  ・適正な保護具の着用  ・資格証の確認  ・関係する作業員全員に周知し相互理解を深める  ・現地の状況に合わせた危険予知を行う  ・つまずき・転倒に注意する  ・第三者への接触に注意する    ・支障物の確認  ・競合作業の有無の確認  ・可燃物の有無の確認 | | |
| 作業 | １）調査位置の確認        ２）鋼材の研磨    ３）測定 | ・対象物の厚さ（2mm以上）や鋼材温度（5℃～35℃）が測定機器の使用範囲か確認する  ・測定箇所の鋼材に電流が流れていないか、表面が乾燥しているかを確認する  ・防炎シート等で養生する  ・鋼材表面の塗装、黒皮、錆等をベルトサンダーにて研磨し、除去する  ・ベルトサンダー使用時には、適正な保護具を着用し、巻き込まれ等に注意する  ・プローブを測定面に直角になるように当て、鋼材の電気抵抗値を測定する。  ・測定された電気抵抗値から、鋼材種別を推定する | | |
| 作業工程 | 作業の順序 | 手順・安全のポイント | | |
| 作業 | ４）復旧 | ・ロールマスカー等で測定箇所付近を養生する  ・錆止めスプレー等にて復旧する | | |
| 片付け・移動 | １）片付け    ２）移動 | ・残置物がないか確認する    ・つまずき・転倒に注意する  ・第三者への接触に注意する | | |
| 作業状況図 | | | | |
| 使用機器例  サムスチールチェッカー  作業状況例  測定状況  ベルトサンダーによる研磨 | | | | |